

7. 受賞等

ここでは、気象研究所の職員が平成 30 年度に他機関から受けた表彰、及び取得した学位の一覧を掲載している。

受賞には、受賞者の氏名、賞の名称、表彰した機関名、表彰年月日を掲載している。

学位取得には、学位取得者の氏名、学位名、学位授与大学、取得年月日及び学位取得の対象となった論文名を掲載している。

7. 1. 受賞

荒木健太郎	日本雪氷学会関東・中部・西日本支部論文賞、(公社) 日本雪氷学会、平成 30 年 5 月
浦川 昇吾	日本海洋学会岡田賞、(公社) 日本海洋学会、平成 30 年 6 月
堀田 大介	highlighted articles 2018、英国王立気象学会論文誌 Quarterly Journal of the Royal Meteorological Society (QJRMS 誌)、平成 30 年 10 月
吉田 智	日本大気電気学会学術研究賞、日本大気電気学会、平成 31 年 1 月
山口 宗彦	日本気象学会英文レター誌 SOLA 論文賞、(公社) 日本気象学会、平成 31 年 2 月

7. 2. 学位取得

小山 亮

学 位：博士（理学）（名古屋大学、平成 30 年 6 月 29 日）

学術論文：Study on Typhoon Intensification Processes Using Rapid Scans from Geostationary Satellites（静止気象衛星のラピッドスキャンを用いた台風の強化プロセスに関する研究）

荒木健太郎

学 位：博士（学術）（三重大学、平成 30 年 12 月 19 日）

学術論文：Study for understanding of snowfall phenomena in the metropolitan areas in Japan associated with the South-Coast Cyclones（南岸低気圧による首都圏降雪現象の実態解明のための研究）

原田 やよい

学 位：博士（理学）（九州大学、平成 31 年 3 月 20 日）

学術論文：Characteristics of the Planetary wave Packet Propagation During Boreal Winter as Revealed by Japanese Long-term Reanalysis Data（長期再解析データに基づく北半球冬季における惑星規模波束の伝播特性に関する研究）

小木曾 仁

学 位：博士（理学）（北海道大学、平成 31 年 3 月 25 日）

学術論文：Effect of frequency-dependent site amplification and heterogeneous attenuation structure for the precise real-time prediction of ground motions（周波数依存性を考慮したサイト特性と不均質減衰構造が地震動即時予測に及ぼす効果について）

7. 受賞等

7.1. 受賞

7.2. 学位取得

溜湊 功史

学 位：博士（理学）（筑波大学、平成 31 年 3 月 25 日）

学術論文：Study on Real-time Monitoring System of Earthquakes（地震リアルタイム監視予測システムに関する研究）

8. 研究交流

ここでは、気象研究所の職員が平成 30 年度に外国出張等により出席・参加した海外で行われた国際会議・研究集会・講演、気象研究所が平成 30 年度に他機関から受け入れた研究者、及び海外研究機関からの来訪者の一覧を掲載している。

8.1. 外国出張等

- | | |
|-------|---|
| 青梨和正 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 2018 年 APEC 台風シンポジウム (APTS) への出席, 台湾, H30. 5. 7～11 ・ 降水観測ミッション (PMM) サイエンスチーム会合への出席, 米国, H30. 10. 7～14 ・ アメリカ航空宇宙局 (NASA) ジェット推進研究所 (JPL) Haddad 博士との研究打ち合わせ, 米国, H31. 3. 10～17 |
| 足立光司 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 米国地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2018) への出席等, 米国, H30. 12. 9～16 ・ 北極圏の雪氷圏変動メカニズム解明に資する放射・エアロゾル観測及び全天分光放射計保守点検作業, ノルウェー, H31. 1. 6～17 ・ 気候変動解明を目指したエアロゾル複合分析に必要な地上サンプリング, タイ, H31. 2. 10～26 |
| 足立 透 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 15 回アジア・大洋州地球科学会年次会合 (AOGS2018) への出席, 米国, H30. 6. 5～8 |
| 石井憲介 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 10 回火山都市国際会議 (Cities on Volcanoes 10) への参加, イタリア, H30. 9. 1～6 |
| 石井雅男 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 7 回全球海洋観測システム (GOOS) 運営委員会ほかへの出席, コロンビア, H30. 6. 10～18 ・ IPCC 第 6 次評価報告書第一作業部会第 1 回主要執筆者会議への出席等, 中国, H30. 6. 24～30 ・ 海洋生物圏統合研究 (IMBeR) 第 8 回日中韓シンポジウム「西太平洋生物圏の持続可能性に関する海洋生物地球化学」への出席, 中国, H30. 9. 16～19 ・ IPCC 第 6 次評価報告書第一作業部会第 2 回主要執筆者会議への出席, カナダ, H31. 1. 6～13 ・ 全球気候観測システム (GCOS) 合同パネル会議への出席, モロッコ, H31. 3. 16～24 |
| 石井正好 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 6 期結合モデル相互比較計画 (CMIP6) モデル解析ワークショップへの出席, スペイン, H31. 3. 24～30 |
| 石元裕史 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 回雲リモートセンシング、大気放射、及び再生可能エネルギーへの応用に関する国際シンポジウム (CARE-2018) への参加, 中国, H30. 8. 6～10 ・ 北極圏の雪氷圏変動メカニズム解明に資する放射・エアロゾル観測及び全天分光放射計保守点検作業, ノルウェー, H31. 1. 6～17 |
| 今田由紀子 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 第 15 回アジア・大洋州地球科学会年次会合 (AOGS2018) への出席, 米国, H30. 6. 3～10 ・ 第 2 回季節から十年規模スケールの予測に関する国際会議及び第 2 回季節内から季 |

- 節予測に関する国際会議並びに季節内から季節予測プロジェクト運営グループ会合への出席, 米国, H30. 9. 16~23
- ・ 気候変化と気候変動に関する日米共同ワークショップ 2019 への出席, 米国, H31. 3. 4~8
- 碓氷典久
- ・ 衛星高度計 25 年の進展シンポジウムへの出席, ポルトガル, H30. 9. 22~30
- 遠藤洋和
- ・ 第 15 回アジア・大洋州地球科学会年次会合 (AOGS2018) への出席, 米国, H30. 6. 3~10
 - ・ モンスーンと熱帯降水帯に関する第 2 回世界気候研究計画 (WCRP) 重点課題会合への出席, イタリア, H30. 6. 30~7. 7
 - ・ 第 6 期結合モデル相互比較計画 (CMIP6) モデル解析ワークショップへの出席, スペイン, H31. 3. 24~30
- 大河原 望
- ・ 第 15 回基準地上放射観測網 (BSRN) 科学評価及びワークショップへの出席, 米国, H30. 7. 15~22
 - ・ エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る日射計検定観測のための機器設置 (ハワイ島), 米国, H30. 10. 11~19
- 大島 長
- ・ 第 15 回アジア・大洋州地球科学会年次会合 (AOGS2018) への出席, 米国, H30. 6. 3~10
 - ・ 北極評議会/北極圏監視評価プログラム作業部会/短寿命気候強制力因子専門家グループ会合への出席, イタリア, H30. 11. 11~17
 - ・ 米国地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2018) への出席等, 米国, H30. 12. 9~16
- 岡本幸三
- ・ 第 15 回アジア・大洋州地球科学会年次会合 (AOGS2018) への出席, 米国, H30. 6. 4~10
 - ・ 欧州気象衛星開発機構 (EUMETSAT) 気象衛星会議 2018 への出席, エストニア, H30. 9. 16~23
 - ・ 米国地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2018) への出席等, 米国, H30. 12. 9~16
- 小木曾 仁
- ・ 米国地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2018) への出席等, 米国, H30. 12. 9~16
- 奥山 哲
- ・ 第 10 回日本—カムチャッカー アラスカ沈み込み過程に関するワークショップ (JKASP-2018) での研究成果発表等, ロシア, H30. 8. 19~9. 1
- 小山 亮
- ・ 第 33 回ハリケーンと熱帯気象に関する国際会議への参加, 米国, H30. 4. 15~22
- 折笠成宏
- ・ 第 15 回雲物理と大気放射に関する会議への出席, カナダ, H30. 7. 8~15
- 梶野瑞王
- ・ 欧州地球科学連合 (EGU) 年次大会への出席, オーストリア, H30. 4. 9~15
 - ・ フランス放射線防護・原子力安全研究所 (IRSN) サクレーおよびクレルモン・オーベルニュ大学 (UCA) におけるエアロゾル・雲相互作用に関する共同研究, フランス, H30. 7. 23~8. 21
 - ・ 米国地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2018) への出席等, 米国, H30. 12. 9~15
- 川合秀明
- ・ 第 15 回雲物理と大気放射に関する会議への出席, カナダ, H30. 7. 8~15

- ・ 雲フィードバックに関するモデル相互比較プロジェクト会合への出席, 米国, H30. 10. 15~21
- 川口亮平 ・ 第 10 回火山都市国際会議 (Cities on Volcanoes 10) への参加, イタリア, H30. 9. 2~8
- 川瀬宏明 ・ 第 15 回アジア・大洋州地球科学会年次会合 (AOGS2018) への出席, 米国, H30. 6. 3~10
- ・ 第 2 回全球エネルギー・水循環観測計画 (GEWEX) による雲解像気候モデリングワークショップ等への出席, 米国, H30. 9. 3~9
- 川畑拓矢 ・ 気象学及び海洋学における感度解析とデータ同化に関するワークショップへの出席, ポルトガル, H30. 6. 30~7. 8
- 工藤 玲 ・ 第 7 回 EarthCARE 国際ワークショップ、及び第 1 回欧州宇宙機関 (ESA) EarthCARE 検証ワークショップへの出席及び発表, ドイツ, H30. 6. 10~17
- ・ エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る日射計検定観測のための機器撤収 (ハワイ島), 米国, H30. 11. 19~23
- ・ 第 5 回国際 SKYNET ワークショップへの参加, インド, H31. 2. 11~16
- ・ エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る放射計の比較と保守 (中国), 中国, H31. 3. 8~11
- 高野洋雄 ・ 波浪モデルの利用に関する研修ワークショップへの講師としての出席, フィリピン, H30. 4. 8~14
- ・ 海洋モデルシステムに関する研修ワークショップへの講師としての出席, マレーシア, H30. 10. 28~11. 3
- ・ 世界気象機関 (WMO) 沿岸浸水予測実証計画 (CIFDP) フィジー技術ワークショップへの出席, フィジー, H30. 11. 17~22
- ・ 世界気象機関 (WMO) 沿岸浸水予測実証計画 (CIFDP) 推進委員会 (PSG) への出席, インドネシア, H31. 1. 30~2. 3
- 小寺祐貴 ・ 2018 年米国地震学会及びラテンアメリカ・カリブ地域地震学会合同大会への出席, 米国, H30. 5. 13~19
- ・ 米国地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2018) への出席等, 米国, H30. 12. 9~16
- 小林ちあき ・ 米国地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2018) への出席等, 米国, H30. 12. 9~17
- 近藤圭一 ・ 第 10 回エアロゾル予測に関する国際協力 (ICAP) ワーキンググループ会合出席, 英国, H30. 6. 4~10
- ・ 米国地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2018) への出席等, 米国, H30. 12. 9~16
- 酒井 哲 ・ 温室効果ガス観測技術衛星 (GOSAT) データの高精度化に資するライダー装置の保守・調整, ニュージーランド, H30. 10. 14~21
- ・ 米国気象学会 (AMS) 第 99 回年次会合への参加, 米国, H31. 1. 5~12
- ・ 温室効果ガス観測技術衛星 2 号 (GOSAT-2) データの高精度化に資するライダー装置の保守・調整及び試験観測, フィリピン, H31. 2. 3~10
- 坂本 圭 ・ 米国地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2018) への出席等, 米国, H30. 12.

9～16

- 佐々木秀孝 ・ アジアにおける水・エネルギー・食料の関連と持続可能な開発目標に向けた水管理及び気候変動の国際会議(THA2019), タイ, H31. 1. 21～26
- 佐藤英一 ・ 第10回火山都市国際会議 (Cities on Volcanoes 10) への参加, イタリア, H30. 9. 1～9
- 澤 庸介 ・ 温室効果ガスの輸送過程解明に資する航空機上での大気試料サンプリング, フランス, H30. 5. 29～30, H30. 10. 30～31, H31. 1. 15～16
- 沢田雅洋 ・ 第33回ハリケーンと熱帯気象に関する国際会議への参加, 米国, H30. 4. 15～19
- 澤田洋平 ・ 第2回陸面作業部会と第8回陸面解析・衛星利用部会の合同ワークショップへの出席, ポルトガル, H30. 6. 25～30
- ・ 米国地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2018)への出席等, 米国, H30. 12. 9～16
- ・ 米国気象学会 (AMS) 第99回年次会合への参加, 米国, H31. 1. 6～12
- 嶋田宇大 ・ 第33回ハリケーンと熱帯気象に関する国際会議への参加, 米国, H30. 4. 15～22
- ・ 世界気象機関 (WMO) 第9回熱帯低気圧に関する国際ワークショップ (IWTC-9) への出席, 米国, H30. 12. 2～9
- 新藤永樹 ・ アメリカ航空宇宙局 (NASA) ジェット推進研究所 (JPL) 気候科学センターにおける地球気候システムに関する共同研究, 米国, H30. 9. 16～11. 1
- ・ 気候変化と気候変動に関する日米共同ワークショップ 2019 への出席, 米国, H31. 3. 4～8
- 清野直子 ・ 第10回国際都市気候会議への出席, 米国, H30. 8. 5～11
- 関山 剛 ・ 第15回アジア・大洋州地球科学会年次会合 (AOGS2018) への出席, 米国, H30. 6. 2～10
- ・ 米国地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2018)への出席等, 米国, H30. 12. 9～16
- 高谷祐平 ・ 世界気象機関 (WMO) 基礎システム委員会 (CBS) /気候委員会 (CC1) 合同現業長期予報専門家チーム会合及び WMO 第2回現業長期予報ワークショップへの出席, スペイン, H30. 5. 29～6. 8
- ・ 季節内から季節予測に係るアジア領域ワークショップへの参加, 韓国, H30. 6. 24～27
- ・ 第2回季節から十年規模スケールの予測に関する国際会議及び第2回季節内から季節予測に関する国際会議並びに季節内から季節予測プロジェクト運営グループ会合への出席, 米国, H30. 9. 16～24
- ・ 米国地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2018)への出席等, 米国, H30. 12. 7～16
- ・ 季節内から季節予測プロジェクト運営グループ会合及びTIGGEとS2Sアンサンブルを用いた予測可能性と力学、応用に関するワークショップへの参加, 英国, H31. 3. 30～4. 6
- 高薮 出 ・ 気候変動に関する政府間パネル (IPCC) 地域のための気候情報の評価に関する専門家会合 への出席, イタリア, H30. 5. 14～19
- ・ 第15回アジア・大洋州地球科学会年次会合 (AOGS2018) への出席, 米国, H30. 6.

5～10

- ・ IPCC 第6次評価報告書第一作業部会第1回主要執筆者会議への出席等，中国，H30. 6. 24～30
- ・ 第2回全球エネルギー・水循環観測計画(GEWEX)による雲解像気候モデリングワークショップ等への出席，米国，H30. 9. 4～9
- ・ IPCC 第6次評価報告書第一作業部会第2回主要執筆者会議への出席，カナダ，H31. 1. 6～13

田尻拓也 ・ 第15回雲物理と大気放射に関する会議への出席，カナダ，H30. 7. 8～15

- 田中泰宙 ・ 第10回エーロゾル予測に関する国際協力(ICAP)ワーキンググループ会合出席，英国，H30. 6. 4～10
- ・ 世界気象機関(WMO) 全球大気監視(GAW)モデル応用科学諮問部会第3回会合出席，イタリア，H30. 7. 1～6
 - ・ 米国地球物理学連合秋季大会(AGU fall meeting 2018)への出席等，米国，H30. 12. 9～16

谷川朋範 ・ 米国地球物理学連合秋季大会(AGU fall meeting 2018)への出席等，米国，H30. 12. 9～20

辻野博之 ・ 海洋中規模渦エネルギーの発生源と消滅場所に関するワークショップ及び第5回気候と海洋-変動性と予測可能性、変化に関する研究(CLIVAR)海洋モデル開発パネル(OMDP)会合への出席，米国，H31. 3. 10～16

坪井一寛 ・ 温室効果ガスの輸送過程解明に資する航空機上での大気試料サンプリング，フランス，H30. 7. 3～4，H30. 9. 18～19，H31. 2. 25～26

直江寛明 ・ ヨーロッパ気象学会年次総会への出席，ハンガリー，H30. 9. 2～9

仲江川敏之 ・ 第15回アジア・大洋州地球科学会年次会合(AOGS2018)への出席，米国，H30. 6. 3～10

- ・ 台風委員会気候変動が台風に与える影響に関する第三次評価報告書のための専門家会合出席及び東・東南アジアでの影響評価研究に関する打合せ，マカオ，H30. 11. 25～30

- ・ アジアにおける水・エネルギー・食料の関連と持続可能な開発目標に向けた水管理及び気候変動の国際会議(THA2019)，タイ，H31. 1. 21～26

- ・ 世界気象機関(WMO) 気候委員会(CC1) 分野別気候指標に関する専門家会合への出席，オーストラリア，H31. 2. 16～21

長澤亮二 ・ エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る日射計検定観測のための機器撤収(ハワイ島)，米国，H30. 11. 19～23

- ・ エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る放射計の比較と保守(中国)，中国，H31. 2. 27～3. 2

庭野匡思 ・ グリーンランド氷床質量損失メカニズムの解明に資する気象・放射・雪氷観測，デンマーク，H30. 6. 26～8. 3

- ・ デンマーク・グリーンランド地質調査所(GEUS)における、グリーンランド氷床気候システム理解の深化に関する共同研究，デンマーク，H30. 10. 9～11. 9

- ・ 米国地球物理学連合秋季大会(AGU fall meeting 2018)への出席等，米国，H30. 12. 8～16

- ・ グリーンランド共同現地観測の打ち合わせ並びにデンマーク・グリーンランド地質調査所 (GEUS) での研究滞在及び北極圏の氷河の動態と質量収支に関するワークショップ等への参加, デンマーク, H31. 1. 17～2. 1
- 野坂真也
 - ・ フィンランド気象研究所との共同積雪光学観測, フィンランド, H31. 3. 17～23
 - ・ 気候変化と気候変動に関する日米共同ワークショップ 2019 への出席, 米国, H31. 3. 4～8
- 橋本明弘
 - ・ 欧州地球科学連合 (EGU) 年次大会への出席, オーストリア, H30. 4. 8～15
 - ・ 第 15 回雲物理と大気放射に関する会議への出席, カナダ, H30. 7. 8～15
 - ・ 米国地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2018) への出席等, 米国, H30. 12. 9～14
- 林 修吾
 - ・ 第 15 回アジア・大洋州地球科学会年次会合 (AOGS2018) への出席, 米国, H30. 6. 4～9
 - ・ 米国気象学会 (AMS) 第 99 回年次会合への参加, 米国, H31. 1. 5～12
- 林 昌宏
 - ・ 米国地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2018) への出席等, 米国, H30. 12. 9～16
- 原田やよい
 - ・ 第 15 回アジア・大洋州地球科学会年次会合 (AOGS2018) への出席, 米国, H30. 6. 3～10
- 広瀬成章
 - ・ 米国地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2018) への出席等, 米国, H30. 12. 9～16
- 藤井陽介
 - ・ 熱帯太平洋観測システム 2020 (TPOS 2020) のための持続的観測とデータ同化の橋渡しワークショップへの出席, 米国, H30. 4. 30～5. 5
 - ・ 第 2 回季節から十年規模スケールの予測に関する国際会議及び第 2 回季節内から季節予測に関する国際会議並びに季節内から季節予測プロジェクト運営グループ会合への出席, 米国, H30. 9. 16～23
 - ・ 第 10 回気候と海洋-変動性と予測可能性、変化に関する研究 (CLIVAR) 全球統合観測パネル (GSOP) パネルミーティング出席, 米国, H31. 2. 4～8
- 干場充之
 - ・ 2018 年米国地震学会及びラテンアメリカ・カリブ地域地震学会合同大会への出席, 米国, H30. 5. 13～19
 - ・ 欧州地震学委員会 (ESC) 第 36 回大会への出席とイタリア国立海洋学応用地球物理学研究所 (OGS) への訪問, マルタ, H30. 9. 4～12
 - ・ 米国地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2018) への出席等, 米国, H30. 12. 10～16
- 堀田大介
 - ・ 第 8 回アンサンブルカルマンフィルターデータ同化ワークショップへの出席, カナダ, H30. 5. 6～12
 - ・ 気象学及び海洋学における感度解析とデータ同化に関するワークショップへの出席, ポルトガル, H30. 6. 30～7. 8
- 眞木貴史
 - ・ 第 10 回 GOSAT 研究公募研究代表者会議 (GOSAT RA PI 会議) および第 14 回宇宙からの温室効果ガス観測ワークショップ (IWGGMS-14) への出席, カナダ, H30. 5. 7～13
 - ・ 第 9 回砂塵嵐及び降下塵国際ワークショップへの参加, スペイン, H30. 5. 20～27
 - ・ 日中韓黄砂共同研究ワーキンググループ I・II 合同ワークショップへの出席, 中国, H30. 6. 22～24

- ・ 統合全球温室効果ガス情報システム (IG3IS)・大気トレーサー輸送モデル相互比較 (TRANSCOM) 会合への参加, スウェーデン, H30. 9. 16~22
- ・ 米国地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2018)への出席等, 米国, H30. 12. 9~16
- ・ イラン砂塵嵐予測モデルの活用に関する能力構築支援研修, イラン, H31. 2. 15~19
- 益子 渉 ・ 第 29 回米国気象学会シビアローカルストームに関する会議への出席, 米国, H30. 10. 21~27
- 水田 亮 ・ 欧州地球科学連合 (EGU) 年次大会への出席, オーストリア, H30. 4. 8~15
- 谷口無我 ・ 第 10 回火山都市国際会議 (Cities on Volcanoes 10) への参加, イタリア, H30. 9. 2~8
- ・ フィリピン・タール山における火山ガスの地球化学的観測, フィリピン, H30. 9. 10~15, H31. 3. 7~12
- ・ 第 10 回国際火口湖ワークショップへの参加, ニュージーランド, H31. 3. 16~25
- 山口宗彦 ・ 第 33 回ハリケーンと熱帯気象に関する国際会議への参加, 米国, H30. 4. 15~22
- ・ 世界気象機関 (WMO) 第 9 回熱帯低気圧に関する国際ワークショップ (IWTC-9) への出席, 米国, H30. 12. 2~9
- ・ シームレス全球データ処理・予報システム (GDPFS) パイロットプロジェクトに向けた会合への出席, 中国, H31. 2. 27~3. 2
- ・ WMO 世界気象センター (WMC) ワークショップ等への出席, 中国, H31. 3. 25~30
- 山崎明宏 ・ エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る日射計検定観測のための機器設置 (ハワイ島), 米国, H30. 10. 11~19
- ・ エアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に係る放射計の比較と保守 (中国), 中国, H31. 2. 27~3. 14
- 山中吾郎 ・ 米国地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2018)への出席等, 米国, H30. 12. 9~16
- 山本 哲 ・ 日本の気象学史に関わる米国国立公文書記録管理局所蔵資料の調査, 米国, H30. 9. 3~10
- ・ 世界気象機関 (WMO) 測器観測法委員会 (CIMO) 気象・環境測器及び観測法に関する技術会合 (CIMO TECO-2018) への出席, オランダ, H30. 10. 7~13
- ・ 米国気象学会 (AMS) 第 99 回年次会合への参加, 米国, H31. 1. 5~12
- 横田 祥 ・ 第 8 回アンサンブルカルマンフィルターデータ同化ワークショップへの出席, カナダ, H30. 5. 6~12
- ・ 第 29 回米国気象学会シビアローカルストームに関する会議への出席, 米国, H30. 10. 21~27
- 吉田康平 ・ 第 15 回アジア・大洋州地球科学会年次会合 (AOGS2018) への出席, 米国, H30. 6. 3~10
- ・ 米国地球物理学連合秋季大会 (AGU fall meeting 2018)への出席等, 米国, H30. 12. 9~16

8.2. 受入研究員等

客員研究員

当所の研究の効率的な推進に資することを目的とし、当該研究に関する高度の専門知識を有し、当該研究を円滑に実施する能力がある研究者を客員研究員として受け入れている。平成30年度は次の51名を受け入れた。

伊藤純至

期 間：H30. 5. 14～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」
一般研究「大気境界層過程の乱流スキーム高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

宇野史睦

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

大竹秀明

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

伊藤耕介

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

上野 玄太

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」、
科学研究費助成事業（基盤研究B）「粒子フィルタを用いた積乱雲の発生・発達に
関する不確実性の解明」

受入研究部：予報研究部

大泉 伝

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

齊藤 和雄

期 間：H30. 5. 14～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

Le Duc

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

村上正隆

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」、
共同研究（名古屋大学）「乾燥・半乾燥地域における降水強化に関する先端的研究」

受入研究部：予報研究部

荒川理

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、統合的気
候モデル高度化研究プログラム（文部科学省）

受入研究部：気候研究部

楠 昌司

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、統合プロ
グラム領域テーマC「統合的気候変動予測」

受入研究部：気候研究部

小寺邦彦

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、科学研究
費助成事業「熱帯域における成層圏－対流圏力学結合過程」

受入研究部：気候研究部

杉 正人

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、共同研究
（筑波大学）「観測ビックデータを活用した気象と地球環境の予測の高度化」、共
同研究（海洋研究開発機構）地球シミュレータ公募課題「複数の次世代非静力学
全球モデルを用いた高解像度台風予測実験」

受入研究部：気候研究部

野田 彰

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、科学研究
費助成事業「等温位/等密度座標に基づく大気/海洋大循環の解析」

受入研究部：気候研究部

内山明博

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：一般研究「放射収支の監視システムの高度化と気候変動要因解明に関する研究」、地球環境保全等試験研究費「分光日射観測とデータ同化によるエアロゾル・雲の地表面放射収支に与える影響監視に関する研究」

受入研究部：気候研究部

鬼頭昭雄

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、統合プログラム領域テーマC「統合的気候変動予測」

受入研究部：気候研究部

相澤拓郎

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、北極域研究推進プロジェクト（文部科学省）「データ同化モデルの開発・解析を通じた北極域の中期気候予測に関する研究」

受入研究部：気候研究部

岡田靖子

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、気候変動適応技術社会実装プログラム（文部科学省）「近未来予測課題」

受入研究部：気候研究部

村上裕之

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」、統合プログラム領域テーマC「統合的気候変動予測」

受入研究部：気候研究部

伊藤瑠衣

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：統合プログラム領域テーマC「統合的気候変動予測」

受入研究部：気候研究部

宮坂貴文

期 間：H30. 5. 7～H31. 3. 31

研究課題名：統合プログラム領域テーマC「統合的気候変動予測」

受入研究部：気候研究部「

野口峻祐

期 間：H30. 4. 1 ～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「季節予報の高度化と異常気象の要因解明に関する研究」

受入研究部：気候研究部

青木輝夫

期 間：H30. 4. 1 ～H31. 3. 31

研究課題名：一般研究「雪氷物理過程の観測とモデル化による雪氷圏変動メカニズムの解明」、地球環境保全等試験研究費「光吸収性エアロゾルの監視と大気・雪氷系の放射収支への影響評価 ―地球規模で進行する雪氷圏融解メカニズムの解明に向けて―」

受入研究部：気候研究部

島田利元

期 間：H30. 4. 1 ～H31. 3. 31

研究課題名：一般研究「雪氷物理過程の観測とモデル化による雪氷圏変動メカニズムの解明」、宇宙航空研究開発機構地球環境変動観測ミッション「GCOM-C/SGLI による雪氷アルゴリズムの高度化・新規開発、及び地上観測と数値モデルによる検証・校正に関する研究」

受入研究部：気候研究部

金田幸恵

期 間：H30. 4. 1 ～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「台風の進路予報・強度解析の精度向上に資する研究」、科学研究費助成事業（基盤研究A）「高い海面水温は台風や集中豪雨の変調をもたらすのか？」

受入研究部：台風研究部

佐藤信夫

期 間：H30. 4. 1 ～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「台風の進路予報・強度解析の精度向上に資する研究」、科学研究費助成事業（基盤研究B）「南西諸島とフィリピンのドップラーレーダーを用いた台風の構造と強度の関係解明」

受入研究部：台風研究部

中澤哲夫

期 間：H30. 4. 1 ～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「台風の進路予報・強度解析の精度向上に資する研究」、科学研究費助成事業（基盤研究S）「豪雨と暴風をもたらす台風の力学的・熱力学的・雲物理学的構造の量的解析」

受入研究部：台風研究部

板橋秀一

期 間：H30. 4. 1 ～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」、環境研究総合推進費「SLCP の環境影響評価と削減パスの探索による気候変動対策の推進」

受入研究部：環境・応用気象研究部

柴田清孝

期 間：H30. 4. 1 ～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

弓本桂也

期 間：H30. 4. 1 ～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

藤部文昭

期 間：H30. 4. 1 ～H31. 3. 31

研究課題名：一般研究「環境要因による局地気候変動のモデル化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

渡邊俊一

期 間：H30. 4. 1 ～H31. 3. 31

研究課題名：統合プログラム領域テーマC「統合的気候変動予測」、科学研究費助成事業（若手B）「冬季日本周辺海上で発生する渦状擾乱の気候系との相互作用とその将来変化」、

受入研究部：環境・応用気象研究部

五十嵐康人

期 間：H30. 4. 1 ～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」、放射能調査費「人工放射性核種のバックグラウンド大気監視と数値解析に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

猪俣弥生

期 間：H30. 4. 1 ～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」、環境総合推進費「PM2.5 の成分組成、酸化能、呼吸器疾患ハザードとそのモデル予測に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

西澤誠也

期 間：H30. 4. 1 ～H31. 3. 31

研究課題名：一般研究「大気境界層過程の乱流スキーム高度化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

萩野谷成徳

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：一般研究「大気境界層過程の乱流スキーム高度化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

真野裕三

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

増田一彦

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」、宇宙航空研究開発機構
地球環境変動観測ミッション「改良粒子散乱モデルを用いた氷雲・エアロゾル解
析手法の開発」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

石原正仁

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

小林隆久

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

内野 修

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」、科学研究費助成
事業（基盤研究B）「局地的大雨予測のための可搬性に優れた次世代型水蒸気ライ
ダーの開発」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

新井健一郎

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」、共同研究（J R 東日本）
「高精度センシング技術を用いた、列車運行判断のための災害気象の監視・予測
手法の開発」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

石津尚喜

8. 研究交流

8.2. 受入研究員等

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」、共同研究（J R 東日本）
「高精度センシング技術を用いた、列車運行判断のための災害気象の監視・予測
手法の開発」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

藤原忠誠

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「顕著現象監視予測技術の高度化に関する研究」、共同研究（J R 東日本）
「高精度センシング技術を用いた、列車運行判断のための災害気象の監視・予測
手法の開発」

受入研究部：気象衛星・観測システム研究部

吉川澄夫

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「地震活動・地殻変動監視の高度化に関する研究」

受入研究部：地震津波研究部

Marco Pilz

期 間：H30. 10. 15～H30. 11. 14

研究課題名：重点研究「緊急地震速報の予測手法の高度化に関する研究」

受入研究部：地震津波研究部

舘畑秀衛

期 間：H30. 4. 23～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「津波の予測手法の高度化に関する研究」

受入研究部：地震津波研究部

石崎 廣

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：一般研究「海洋モデルの高度化に関する研究」

受入研究部：海洋・地球化学研究部

倉賀野連

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「沿岸海況予測技術の高度化に関する研究」

受入研究部：海洋・地球化学研究部

丹羽 洋介

期 間：H30. 4. 1～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」、環境研究総合費
「温室効果ガスの吸排出量監視に向けた統合型観測解析システムの確立」

受入研究部：海洋・地球化学研究部

8. 研究交流

8.2. 受入研究員等

横内陽子

期 間：H30. 4. 1 ～H31. 3. 31

研究課題名：重点研究「地球環境監視・診断・予測技術高度化に関する研究」

受入研究部：海洋・地球化学研究部

リサーチアソシエイト

当該研究に関する高度な専門知識を有し、当所研究の効率的な推進に資することを目的とし、人材派遣会社との契約により気象研究所に派遣される研究支援者のうち、所長の承認を受けた者について「リサーチアソシエイト」の呼称を用いることができるとしている。平成30年度は次の7名について承認した。

郭 子仙

期 間：H30. 4. 2～H31. 3. 29

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

郭 威鎮

期 間：H30. 7. 3～H31. 3. 29

研究課題名：重点研究「メソスケール気象予測の改善と防災気象情報の高度化に関する研究」

受入研究部：予報研究部

神代 剛

期 間：H30. 4. 2～H31. 3. 29

研究課題名：重点研究「気候モデルの高度化と気候・環境の長期変動に関する研究」

受入研究部：気候研究部

Ping Pui (Joseph) Ching

期 間：H30. 4. 2～H31. 3. 29

研究課題名：環境研究総合推進費「PM2.5の成分組成、酸化能、呼吸器疾患ハザードとそのモデル予測に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

木名瀬 健

期 間：H30. 4. 2～H31. 3. 29

研究課題名：放射能調査研究費「人工放射性核種のバックグラウンド大気監視と数値解析に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

森 一安

期 間：H30. 4. 2～H31. 3. 29

研究課題名：一般研究「大気境界層過程の乱流スキーム高度化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

八木俊政

期 間：H30. 4. 2～H31. 3. 29

研究課題名：一般研究「大気境界層過程の乱流スキーム高度化に関する研究」

受入研究部：環境・応用気象研究部

8. 3. 海外研究機関等からの来訪者等

招聘研究者

Mr. Truong Ba Kien (ベトナム ベトナム気象・水文・気候変動研究所)

期 間：平成 30 年 7 月 9 日～平成 30 年 9 月 7 日

用 務：地域気候モデルを用いた東南アジア域における将来気候予測実験に関する共同研究

担当研究者：佐々木 秀孝（環境・応用気象研究部）

Mr. Robb Prieto GILE (フィリピン フィリピン大気地球物理天文庁)

期 間：平成 30 年 9 月 3 日～平成 30 年 11 月 1 日

用 務：数値予報モデルを用いた熱帯における台風予測精度の向上に関する共同研究

担当研究者：青梨 和正（台風研究部）

Mr. Marco Christian PILZ (ドイツ ドイツ地球科学センター)

期 間：平成 30 年 10 月 15 日～平成 30 年 11 月 14 日

用 務：緊急地震速報の運用に関して、ドイツ地球科学センターの地震動即時予測との連携を強化する

担当研究者：干場 充之（地震津波研究部）

Mr. Alexzander Baklanov (ロシア/デンマーク)

Mr. Xiaoye Zhang (中国)

Mr. Yaqiang Wang (中国)

Ms. Tao Niu (中国)

Ms. Hong Wang (中国)

Mr. Huizheng Che (中国)

Ms. Ping Wang (中国)

Mr. Zhili Wang (中国)

Mr. Hailin Gui (中国)

Mr. Lin Chen (中国)

Mr. Tianhang Zhang (中国)

Ms. Lu Ren (中国)

Mr. Lin Tian (中国)

Ms. Mingzhu Yang (中国)

Ms. Xiaying Zhu (中国)

Mr. Yuepeng Pan (中国)

期 間：平成 30 年 11 月 18 日～平成 30 年 11 月 22 日

用 務：砂塵嵐の警戒及び影響評価のためのシステムアジアノード運営委員会会合及び砂塵嵐ワークショップへの参加

担当研究者：眞木 貴史（環境・応用気象研究部）

Ms. SOMA SEN ROY (インド インド気象局)

期 間：平成 30 年 11 月 18 日～平成 30 年 11 月 23 日

用 務：砂塵嵐の警戒及び影響評価のためのシステムアジアノード運営委員会会合及び砂塵嵐ワークショップへの参加

担当研究者：眞木 貴史（環境・応用気象研究部）

Mr. Jean-Noël Thépaut (フランス ヨーロッパ中期予報センター)

期 間：平成 31 年 2 月 15 日～平成 31 年 1 月 19 日

用 務：コペルニクスプログラムに関する講演と、モデル開発に関する研究打ち合わせ

担当研究者：大野木 和敏（研究調整官）

Mr. Abdulla Mohd A M Al-Mannai（カタール カタール気象局）

Mr. A. Rahman Saleh M Al-Ansari（カタール カタール気象局）

Mr. Kanikicharla Krishna Kumar（カタール カタール気象局）

期 間：平成 31 年 3 月 16 日～平成 31 年 3 月 22 日

用 務：カタール気象局、気象研究所の共同研究についての協議及び都市気候モデルについての知見の取得

担当研究者：佐々木 秀孝（環境・応用気象研究部）

Ms. Cochran Elizabeth Scott（米国 米国地質調査所）

Ms. Minson Sarah Ellen（米国 米国地質調査所）

期 間：平成 31 年 3 月 20 日～平成 31 年 3 月 27 日

用 務：波動場から未来の波動場を予測する手法及び震動即時予測の研究や、米国内での地震動即時警報の運用に向けての動きについての議論

担当研究者：干場 充之（地震津波研究部）

Mr. Aneesh Subramanian Chamakuzhi（インド コロラド大学ボルダー校）

期 間：平成 31 年 3 月 25 日～平成 31 年 3 月 30 日

用 務：気象研究所で実施した気象・気候予測に関する数値実験データを受け取り、その内容についての説明をうけ、解析手法に関する議論

担当研究者：藤井 陽介（海洋・地球化学研究部）

JICA 研修受け入れ

平成 30 年度 課題別研修「気象業務能力向上」

Mr. HOSSAIN Shah Md Shajib（バングラディッシュ）

Mr. NAUGA Alifereti（フィジー）

Ms. MEHMOOD Ruqiya（パキスタン）

Mr. ALEJOS Darwin Jr（フィリピン）

Mr. WICKRAMANAYAKAKARUNARATNA Jeewan（スリランカ）

Ms. SINGTA Sujittra（タイ）

期 間：平成 30 年 11 月 5 日

対応研究者：長澤 亮二（気候研究部）、足立光司（環境・応用気象研究部）、楠 研一、小司 禎教、足立アホロ、足立 透、永井智広（気象衛星・観測システム研究部）

9. 委員・専門家等

ここでは、平成 30 年度に気象研究所の職員が外部機関から委嘱を受けた委員・専門家等（平成 29 年度以前から継続しているものも含む）について、個人別に五十音順で掲載している。

9. 1. 国際機関の委員・専門家

- | | |
|-------|--|
| 青梨和正 | ・ 天然資源の開発利用に関する日米会議（UJNR）耐風・耐震構造専門部会日本側専門部会作業部会 D 委員 |
| 足立アホロ | ・ 対流圏プロファイルに関する国際会議（ISTP）プログラム委員 |
| 石井雅男 | ・ ユネスコ政府間海洋学委員会（IOC）・海洋科学研究委員会（SCOR）国際海洋炭素連携プロジェクト（IOCCP）科学運営グループ委員
・ 北太平洋海洋科学機関（PICES）気候－炭素部会委員
・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会（JCOMM）現場観測支援センター（OPS）＊ 全球船舶海洋観測研究プログラム（GO-SHIP）推進委員
・ 全球海洋観測システム（GOOS）生物地球化学のための海洋観測パネル（BGCP）共同議長
・ IPCC 第 1 作業部会主要執筆者（AR6-WG1-LA） |
| 今田由紀子 | ・ 気候と海洋・変動性と予測可能性、変化に関する研究（CLIVAR）太平洋地域パネル（PRP）委員 |
| 碓氷典久 | ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会（JCOMM）＊ 全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクトデータ同化タスクチーム（DA-TT）メンバー |
| 大河原望 | ・ WMO 測器観測法委員会（CIMO）＊ 直接観測技術と相互比較に関する作業部会放射基準に関するタスクチームメンバー |
| 折笠成宏 | ・ 国際気象学・大気科学協会（IAMAS） 国際雲・降水委員会委員 |
| 梶野瑞王 | ・ 日中韓大気汚染物質長距離越境移動研究プロジェクト（LTP）・サブワーキンググループ（SWG）委員 |
| 高野洋雄 | ・ WMO 大気科学委員会（CAS）＊ WWRP 科学運営委員会（SSC）熱帯低気圧上陸過程に関する専門家チームメンバー
・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会（JCOMM）＊ 防災専門家チーム（ETDRR）コアメンバー
・ WMO 沿岸浸水予測実証計画（CIFDP）＊ 推進委員会メンバー |
| 酒井 哲 | ・ WMO 測器観測法委員会（CIMO）＊ リモートセンシング技術に関する作業部会新しいリモートセンシング技術に関する専門家チームメンバー |
| 小司禎教 | ・ 全球気候観測システム基準高層観測網（GRUAN）＊タスクチーム 2（全球航法衛星システムによる可降水量） 委員
・ 天然資源の開発利用に関する日米会議（UJNR） 耐風・耐震構造専門部会日本側幹事会委員
・ 国際測地学協会研究会 4.3.7（IAG SG4.3.7「リアルタイム GNSS プロダクト」）メンバー
・ 国際測地学協会合同作業グループ 4.3.8（IAG JWG4.3.8「気候のための GNSS 大気プロダクト」）メンバー |
| 高薮 出 | ・ IPCC 第 1 作業部会主要執筆者（AR6-WG1-LA）
・ 天然資源の開発利用に関する日米会議（UJNR）耐風・耐震構造専門部会日本側専門部会作業部会 D 委員 |

- | | |
|-------|--|
| 田中泰宙 | <ul style="list-style-type: none"> ・ エーロゾルに関する国際協力 (ICAP) コアメンバー ・ WMO 全球大気監視計画 (GAW) モデル応用科学諮問部会 委員 ・ WMO SDS-WAS アジアノード 予測検証ワーキンググループ 委員 |
| 辻野博之 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界気候計画(WCRP)* 気候と海洋・変動性と予測可能性、変化に関する研究 (CLIVAR) 海洋開発パネル(OMDP) Emeritus |
| 堤 之智 | <ul style="list-style-type: none"> ・ WMO 気候委員会 (CCI) *委員 ・ WMO 気候サービスに関する政府間委員会 (IBCS) *メンバー |
| 仲江川敏之 | <ul style="list-style-type: none"> ・ WMO 気候委員会 (CCI) * 気候リスクとセクター別気候指標に関する専門家チーム共同リーダー ・ 国際気象学・大気科学協会 (IAMAS) 気候に関する国際委員会委員 (ICCL) ・ 台風委員会作業部会 気象作業部会 気候変動影響専門家チームメンバー |
| 高谷祐平 | <ul style="list-style-type: none"> ・ WMO 基礎システム委員会 (CBS)/気候委員会 (CCI) * 合同現業季節予報専門家チーム(IPET-OPSL)委員 ・ 世界天気研究計画/世界気候研究計画 (WWRP/WCRP) * 季節内から十年規模の気候予測作業部会 (WGWIP) メンバー ・ 世界天気研究計画/世界気候研究計画 (WWRP/WCRP) * 季節内から季節予測プロジェクト(S2S)運営グループメンバー ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会 (JCOMM) * 全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクト科学運営チーム (GOVST) 結合予測タスクチーム(CP-TT)メンバー ・ 全球海洋観測システム (GOOS) * 2020 年以降の熱帯太平洋観測システムに関する検討グループ (TPOS2020) 運営委員会メンバー |
| 橋本徹夫 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 天然資源の開発利用に関する日米会議 (UJNR) 耐風・耐震構造専門部会日本側委員 |
| 藤井陽介 | <ul style="list-style-type: none"> ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会 (JCOMM) * 全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクト科学運営チーム (GOVST) コアメンバー ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会 (JCOMM) * 全球海洋データ同化実験海洋概観プロジェクト観測システム評価タスクチーム (OSEval-TT) 共同議長 ・ 全球海洋観測システム (GOOS) * 2020 年以降の熱帯太平洋観測システムに関する検討グループ (TPOS2020) モデル・データ同化タスクチーム (TPOS2020/M&DA-TT) メンバー ・ 気候と海洋・変動性と予測可能性、変化に関する研究 (CLIVAR) 全球観測と統合化に関するパネル (GSOP) 科学運営委員 |
| 眞木貴史 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 日中韓三カ国環境大臣会合 砂塵嵐ワーキンググループ 専門委員 ・ WMO SDS-WAS アジアノード 副議長 |
| 山口宗彦 | <ul style="list-style-type: none"> ・ WMO 大気科学委員会 (CAS) * WWRP 科学運営委員会 (SSC) 予測可能性・力学過程及びアンサンブル予報に関する作業部会(PDEF) |
| 和田章義 | <ul style="list-style-type: none"> ・ WMO 台風委員会 (UNESCSP) Tropical Cyclone Research and Review Associate Editor ・ WMO/IOC 合同海洋・海上気象専門委員会 (JCOMM) * 大気海洋結合モデルによる短期及び中期予報準備チーム (SMRCP-TT) メンバー |

* 世界気象機関 (WMO) に属する委員会等

9. 2. 国内機関の委員・専門家等

- 青梨和正
- ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 地球環境変動観測ミッション (GCOM) AMSR 後継機センサチーム委員会委員
 - ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 地球環境変動観測ミッション (GCOM) 委員会委員
 - ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 第二回地球観測研究公募全球降水観測計画 (GPM) 分野評価委員会委員
 - ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 降水観測ミッション (PMM/GPM) 利用検討委員会委員
- 足立アホロ
- ・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期気象研究ノート編集委員会委員
- 足立光司
- ・ 東京理科大学 客員准教授
- 足立 透
- ・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期気象災害委員会委員
 - ・ 総務省 次世代高機能気象レーダーの導入による周波数の有効利用のための技術的条件に関する調査検討会委員
- 荒木健太郎
- ・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期気象研究ノート編集委員会委員
 - ・ (公社) 日本雪氷学会 電子情報委員会委員
- 安藤 忍
- ・ 日本測地学会編集委員
- 石井雅男
- ・ 文部科学省 IPCC 国内連絡会メンバー
 - ・ 文部科学省 IPCC 第 1 作業部会国内幹事会メンバー
 - ・ 日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 IMBeR 小委員会委員
 - ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 IOC 協力推進委員会海洋観測・気候変動国内専門部会委員
 - ・ 東京大学 海洋資源利用促進技術開発プログラム 海洋情報把握技術開発「BGC-Argo 搭載自動連続炭素系計測システムの開発」助言委員会委員
- 石井正好
- ・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期 SOLA 編集委員会委員
 - ・ 筑波大学 生命環境系 教授 (連携大学院)
 - ・ 国立研究開発法人国立環境研究所 スーパーコンピュータ研究利用専門委員会委員
- 石元裕史
- ・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期講演企画委員会委員
- 今田由紀子
- ・ 日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 CLIVAR 小委員会委員
 - ・ 東京大学大気海洋研究所 文科省「統合的気候モデル高度化研究プログラム」「全球規模の気候変動予測と基盤的モデル開発」運営委員会委員
 - ・ (公社) 日本気象学会 第 40 期天気編集委員会委員
- 入口武史
- ・ (公社) 日本気象学会 2018 春季大会実行委員
- 上清直隆
- ・ (公社) 日本気象学会 第 40 期講演企画委員会委員
- 碓氷典久
- ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 海洋・宇宙連携委員会 End-to-End ユーザグループ「水産・沿岸環境」委員
 - ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 海面高度計ミッション (COMPIRA) 委員会委員
- 遠藤洋和
- ・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期気象研究ノート編集委員会委員
- 大島 長
- ・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期天気編集委員会委員

- 大塚道子 ・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期天気編集委員会委員
・ 国立研究開発法人理化学研究所 客員研究員
- 大野木和敏 ・ (公社) 日本気象学会 学術委員会データ利用部会委員
- 岡本幸三 ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 PMM/GPM 利用検討委員会、後継ミッション
検討分科会
・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 水循環観測グランドプランの策定委員会
委員
・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 地球環境変動観測ミッション (GCOM) AMSR
後継機センサチーム委員会委員
・ 国立研究開発法人理化学研究所 客員研究員
- 尾瀬智昭 ・ 日本学術会議委員 (環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 GEWEX
小委員会委員)
- 小田真祐子 ・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期教育と普及委員会委員
- 小畑 淳 ・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期気象集誌編集委員会委員
- 鬼澤真也 ・ (特非) 日本火山学会 編集委員会委員
- 梶野瑞王 ・ (公社) 大気環境学会 編集委員会委員
・ 日本エアロゾル学会 編集委員会委員
・ 筑波大学 生命環境系 准教授 (連携大学院)
- 勝間田明男 ・ 国立研究開発法人建築研究所 研究評価委員会構造分科会 委員
- 川合秀明 ・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期気象集誌編集委員会委員
- 川瀬宏明 ・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期気象集誌編集委員会委員
・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期教育と普及委員会委員
・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期電子情報委員会委員
・ (公社) 東京地学協会 地学雑誌特集号「中部山岳」編集委員
・ (一社) 日本気象予報士会 気象予報士 CPD 運営委員会の委員及び認定委員
- 川畑拓矢 ・ (公社) 日本気象学会 第 40 期気象集誌編集委員会委員
・ 神戸大学 非常勤講師 (客員准教授)
- 川端康弘 ・ (公社) 日本気象学会 第 40 期役員候補者選挙管理委員会委員
- 楠 研一 ・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期講演企画委員会委員
・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期気象災害委員会委員
- 工藤 玲 ・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期講演企画委員会委員
・ 東京理科大学 客員研究員
- 隈 健一 ・ (公社) 日本気象学会 2018 春季大会委員長
- 高野洋雄 ・ 内閣府戦略的イノベーション創造プログラム 高潮・高波予測システム開発作業部会
委員
- 小林ちあき ・ 日本学術会議 環境学委員会・地域惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 SPARC 小
委員会委員
- 近藤圭一 ・ 国立研究開発法人理化学研究所客員研究員
- 財前祐二 ・ 日本エアロゾル学会 日本エアロゾル学会編集委員
・ 東京理科大学 客員教授
- 酒井 哲 ・ レーザ・レーダ研究会 活性化委員
・ 国立研究開発法人国立環境研究所 客員研究員
・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 大気浮遊物質検地ライダー実用化検討委

員会委員

- 坂本 圭 ・ 文部科学省 科学技術専門化ネットワーク・専門調査員
- 佐々木秀孝 ・ 環境省 地域適応コンソーシアム全国運営委員会委員
- 佐藤英一 ・ (一社) 日本風工学会 風災害研究会委員
- ・ (一社) 日本風工学会 代表委員会委員
- 澤 庸介 ・ (公財) J A L 財団 第 3 期航空機による地球環境観測推進委員会委員
- ・ 国立研究開発法人産業技術総合研究所 客員研究員
- 澤田洋平 ・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期講演企画委員会委員
- ・ 国立研究開発法人理化学研究所 客員研究員
- ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 地球環境変動観測ミッション (GCOM) AMSR 後継機センサチーム委員会委員
- 小司禎教 ・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期気象災害委員会委員
- ・ (公社) 日本地球惑星科学連合 環境災害対応委員会委員
- ・ (公社) 日本気象学会 気象集誌編集委員会 (TOMACS 特別号) 委員
- ・ 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 MADOCA システム改良のための有識者委員会委員
- 新藤永樹 ・ (公社) 日本気象学会 2018 春季大会実行委員
- 新堀敏基 ・ 内閣府 火山防災に係る技術動向検討グループ委員
- 鈴木 修 ・ (一社) 日本風工学会 日本風工学会代表委員会委員
- ・ (一社) 日本風工学会 運営・学術委員会委員
- ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期評議員
- ・ (一財) 河川情報センター レーダ雨量計活用による河川情報高度化検討会委員
- ・ 国立研究開発法人防災科学技術研究所 「攻め」の防災に向けた気象災害の能動的軽減を実現するイノベーションハブ運営委員会委員
- ・ 放送大学学園 非常勤講師
- 清野直子 ・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期人材育成・男女共同参画委員会委員
- ・ (公社) 日本地球惑星科学連合 ダイバーシティ推進委員会委員
- ・ (公社) 日本気象学会 気象集誌編集委員会 (TOMACS 特別号) 委員
- ・ 国立研究開発法人防災科学技術研究所 大型降雨実験施設運用委員会委員
- 関山 剛 ・ 日本学術会議 環境学委員会・地域惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 IGAC 小委員会委員
- ・ (公社) 日本気象学会 第 39 期天気編集委員会委員
- ・ 日本大気化学会 運営委員会における学会誌編集委員
- 瀬古 弘 ・ (公社) 日本気象学会 気象集誌編集委員会 (TOMACS 特別号) 委員
- ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 招聘上席研究員
- ・ 国立研究開発法人理化学研究所 客員主管研究員
- 高木朗充 ・ (特非) 日本火山学会 理事
- ・ (特非) 日本火山学会 火山防災委員会委員
- ・ (公社) 日本地球惑星科学連合 環境災害対応委員会委員
- 高谷祐平 ・ (公社) 日本気象学会 第 39・40 期 SOLA 編集委員会委員
- 高薮 出 ・ 文部科学省 IPCC 国内連絡会メンバー
- ・ 文部科学省 IPCC 第 1 作業部会国内幹事会メンバー
- ・ 環境省地球環境局 中央環境審議会委員

- ・国土交通省水管理・国土保全局 「気候変動を踏まえた治水計画に係る技術検討会」委員
- ・国立研究開発法人国立環境研究所 気候変動予測及び影響評価の連携推進に向けた検討チーム委員
- ・国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 水循環観測グランドプランの策定委員会委員
- ・国立研究開発法人海洋研究開発機構 文科省「統合的気候モデル高度化研究プログラム」「炭素循環・気候感度・ティッピングエレメント等の解明」運営委員会委員
- ・東京大学大気海洋研究所 文科省「統合的気候モデル高度化研究プログラム」「全球規模の気候変動予測と基盤的モデル開発」運営委員会委員
- ・次世代安心・安全フォーラム 次世代安心・安全ICTフォーラム運営委員
- ・（公社）日本気象学会 第39期理事
- ・（公社）日本気象学会 2018 春季大会実行委員長
- ・京都大学防災研究所 「統合的ハザード予測」に係る運営委員会委員
- 田中泰宙
 - ・茨城県 東海地区環境放射線監視委員会評価部会専門員
 - ・（公社）日本気象学会 第39・40期電子情報委員会委員
 - ・筑波大学計算科学研究センター 共同研究委員会委員
 - ・鳥取大学 客員教授
- 谷川朋範
 - ・（公社）日本雪氷学会 BGR 編集委員会委員
 - ・（公社）日本雪氷学会 2019・2020 年度役員選挙選挙管理委員
- 溜瀨功史
 - ・（公社）日本地震学会 広報委員会委員
- 津口裕茂
 - ・（公社）日本気象学会 第39・40期教育と普及委員会委員
- 辻野博之
 - ・（公社）日本気象学会 第39・40期 SOLA 編集委員会委員
- 津島俊介
 - ・（公社）日本気象学会 2018 春季大会実行委員
- 堤 之智
 - ・（公社）日本気象学会 2018 春季大会実行委員長
- 坪井一寛
 - ・（公社）日本気象学会 2018 春季大会実行委員
 - ・国立研究開発法人産業技術総合研究所 客員研究員
- 出牛 真
 - ・（公社）日本気象学会 第40期講演企画委員会委員
- 直江寛明
 - ・（公社）日本気象学会 2018 春季大会実行委員会事務局長
- 永井智広
 - ・（公社）計測自動制御学会 部会運営委員
 - ・国立研究開発法人国立環境研究所 客員研究員
 - ・レーザ・レーダ研究会 運営委員
- 仲江川敏之
 - ・日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 GEWEX 小委員会委員
 - ・国土交通省水管理・国土保全局水資源部 水資源分野における気候変動への適応策のあり方検討会委員
 - ・環境省 「平成30年度気候変動影響評価・適応計画に関する調査・検討業務」気候変動の影響に関する分野別 WG：水環境・水資源、自然災害・沿岸域 WG 委員
 - ・（公社）日本地球惑星科学連合 ジャーナル企画経営委員
 - ・（一社）水文・水資源学会 国際誌編集委員会アドバイザー
 - ・（公社）日本気象学会 第39・40期理事
 - ・（公社）日本気象学会 第39・40期講演企画委員会委員長
 - ・（公社）日本気象学会 第39・40期企画調整委員会委員

- ・（公社）日本気象学会 第39・40期 SOLA 編集委員会委員
- ・（公社）日本気象学会 第39・40期教育と普及委員会副委員長
- ・東京大学生産技術研究所 リサーチフェロー
- 南雲信宏
 - ・（公社）日本気象学会 第39・40期天気編集委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第39・40期電子情報委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 2018 春季大会実行委員
- 庭野匡思
 - ・（公社）日本気象学会 第39・40期天気編集委員会委員
 - ・（公社）日本雪氷学会 電子情報委員会委員
 - ・（公社）日本雪氷学会 BGR 編集委員会委員
 - ・北極環境研究コンソーシアム 第4期北極環境研究コンソーシアム運営委員会委員
 - ・第6回国際北極研究シンポジウム組織委員会 組織委員会委員
- 橋本明弘
 - ・（公社）日本気象学会 第39・40期講演企画委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第39・40期電子情報委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第39・40期人材育成・男女共同参画委員会委員
- 橋本徹夫
 - ・国土地理院 地震予知連絡会委員
 - ・文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会長期評価部会委員
 - ・文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会高感度地震観測データの処理方法の改善に関する小委員会委員
 - ・文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会地震活動の予測的な評価手法検討小委員会
- 林 修吾
 - ・（公社）日本気象学会 第39・40期天気編集委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第39・40期気象災害委員会委員
- 原田やよい
 - ・（公社）日本気象学会 第39・40期地球環境問題委員会委員
- 弘瀬冬樹
 - ・（公社）日本地震学会 地震編集委員会委員
- 藤井陽介
 - ・日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 CLIVAR 小委員会委員
 - ・統計数理研究所 客員准教授
- 干場充之
 - ・文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会強震動評価部会強震動予測手法検討分科会委員
 - ・（公社）日本地震学会 理事
 - ・（公社）日本地震学会 役員代議員
 - ・（公社）日本地震学会 強震動委員会委員長
 - ・（公社）日本地震学会 災害調査委員会委員
 - ・（公社）日本地震学会 地震学を社会に伝える連絡会議委員
 - ・国立研究開発法人建築研究所 国際地震工学研修評価委員会委員
 - ・国立研究開発法人建築研究所 国際地震工学研修カリキュラム部会委員
- 堀田大介
 - ・（公社）日本気象学会 2018 春季大会実行委員
- 益子 渉
 - ・（公社）日本気象学会 第39・40期講演企画委員会委員
- 水田 亮
 - ・日本学術会議 環境学委員会・地球惑星科学委員会合同 FE・WCRP 合同分科会 CLIVAR 小委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第39・40期気象集誌編集委員会委員
 - ・（公社）日本気象学会 第39・40期地球環境問題委員会委員
- 水野吉規
 - ・（一社）日本流体力学会 「ながれ」 編集委員

- ・（公社）日本気象学会 2018 春季大会実行委員
- 村崎万代 ・（公社）日本気象学会 2018 春季大会実行委員
- 村田昭彦 ・ 環境省 「平成 30 年度気候変動影響評価・適応計画に関する調査・検討業務」気候変動の影響に関する分野別 WG：産業・経済活動、国民生活・都市生活分野 WG 委員
- 毛利英明 ・ 神戸大学 非常勤講師（客員教授）
- 安田珠幾 ・（公社）日本気象学会 第 39・40 期地球環境問題委員会委員
- ・ 日本海洋学会 幹事
- 柳瀬 亘 ・（公社）日本気象学会 第 39・40 期天気編集委員会委員
- ・（公社）日本気象学会 第 40 期気象集誌編集委員会委員
- 山口宗彦 ・ 国立研究開発法人海洋研究開発機構 降水観測ミッション (PMM/GPM) 利用検討委員会委員
- ・（公社）日本気象学会 第 39・40 期学術委員会委員
- 山田芳則 ・ 中央大学 兼任講師
- 山中吾郎 ・ 日本海洋学会 評議員
- 山本 哲 ・ 国立研究開発法人国立環境研究所 気候変動影響観測・監視の推進に向けた検討チーム委員
- ・ 国立研究開発法人国立環境研究所 気候変動適応情報プラットフォーム構築 WG 委員
- ・（特非）気象システム技術協会 新型温度計シェルターの比較観測実験に関する専門家
- 山本剛靖 ・ 文部科学省 地震調査研究推進本部地震調査委員会津波評価部会委員
- ・ 国立研究開発法人防災科学技術研究所 津波予測技術運営委員会委員
- 横田 祥 ・（公社）日本気象学会 第 39・40 期講演企画委員会委員
- 吉田 智 ・ 日本大気電気学会 第 25 期運営委員